

URBAN KUBOTA 35

アーバンクボタ NO.35 SEPTEMBER 1996 株式会社クボタ

●目次

特集＝野尻湖と最終氷期の古環境

1 野尻湖と最終氷期の研究	2
酒井潤一	
2 野尻湖の生い立ちとその変遷	6
赤羽貞幸	
3 湖周辺の古植生と古気候変遷	20
那須孝悌	
4 湖周辺の動物相	30
樽野博幸	
間島信男	
5 野尻湖文化―最終氷期以降の人類史―	44
中村由克	
6 年代および国際対比	60
近藤洋一	
熊井久雄	
7 発掘調査の歩み	64
酒井潤一	

写真上＝骨製クリーヴァー(ナタ状骨器)

ナウマンゾウ上腕骨製で、上端に刃部がつくられている。長さ13.8cm。

1987年の第10次野尻湖発掘で、中部野尻湖層Ⅰより出土。

写真下＝骨製スクレイパー

ナウマンゾウ左脛骨製で、左側縁に刃部がつくられている。長さ18.5cm。

1981年の第8次野尻湖発掘で、下部野尻湖層ⅢBより出土。

写真提供/野尻湖ナウマンゾウ博物館

発行所＝株式会社クボタ 広告宣伝部

大阪市浪速区敷津1丁目2番47号 TEL <06> 648-2612 (ダイヤルイン)

発行日＝1996年9月

編集製作＝(有)アーバンクボタ編集室

図版作成＝スタジオ・ツノ

印刷＝大日本印刷株式会社大阪工場